

意見書案第14号


逗葉新道通行料金の無料化を求める意見書

標記の意見書案を別紙のとおり、逗子市議会会議規則第14条の規定により提出いたします。

平成28年12月16日

逗子市議会議長 菊池俊一 殿

逗子市議会議員 匂坂祐二 

同 八木野太郎 

同 根本祥子 

同 橋爪明子 

同 加藤秀子 

同 松本寛 

同 田幡智子 

同 高野毅 

同 丸山治章 

(別紙)

逗葉新道通行料金の無料化を求める意見書

平成16年3月に、横須賀市の湘南国際村から葉山町長柄地区への県道逗子葉山横須賀線（三浦半島中央道）の一部が開通して、はや12年余りが経過した。同道路の開通が、国道134号線の交通緩和に大変寄与していることを高く評価している。

しかし、その反面、開通当初から懸念されたとおり、逗葉新道の通行が有料という状況のままでは同道路の利用者の多くが一般道をう回するため、市内の渋滞を引き起こす一因になっているとも推察される。

また、東京2020オリンピック競技大会を控えセーリング競技会場が江の島となったことから、今後ますます交通量が増加することが予想される。

よって逗子市議会は神奈川県及び神奈川県道路公社に対し、逗葉新道建設費は既に償却完了して久しく、利用者への還元ということからも、逗葉新道の県道化を図り、通行料を早期に無料化とするよう要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年12月16日

逗子市議会